

病院の概要



- 病床数 340 床
- 医師数（研修医を除く）60 名（うち指導医数 27 名）
- 研修医数 1 年目 2 名 2 年目 2 名
- 研修医の主な出身大学 奈良県立大学・徳島大学・昭和大学・帝京大学
- 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 腎臓内科
血液内科 糖尿病内分泌内科 脳神経内科 外科 消化器外科
乳腺・内分泌内科 整形外科 脳神経外科 アレルギー科
リウマチ科 小児科 泌尿器科 耳鼻咽喉科
リハビリテーション科 放射線科 病理診断科 麻酔科 皮膚科 救急科
- 1 日平均外来患者数 248 名 ● 1 日平均入院患者数 246 名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、日本内科学会認定制度教育関連病院、外科医専門医制度修練施設、日本脳卒中学会研修教育病院、日本整形外科学会認定専門医制度研修施設、日本麻酔科学会認定病院

研修プログラムの特色



当センターの初期臨床研修プログラム理念は深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリケア能力を修得医師養成を目指します。当センターは多様な疾患を経験できます。それは年間入院患者数 6 千人以上、2 次救急外来患者数は約 5 千人と幅広い豊富な患者数に支えられているからです。

さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャリティの指導医を備えていることも当院の特徴です。特に当院では大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色の基に、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修（内科系、外科系ジェネラリスト）プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

プログラム 例 ▶▶▶ さいたま市民医療センター初期臨床研修プログラム（募集定員 4 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目 ▶	内科						救急			外科		
2 年目 ▶	小児科		精神科		地域医療	産婦人科	選択必修			選択		

内科、救急、小児科、外科、精神科、産婦人科、一般外来、地域医療は必修。泌尿器科、整形外科、脳外科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科は選択必修科目としこの中から 3 科 3 ヶ月以上を選択。産婦人科は協力型研修病院である自治医科大学附属さいたま医療センターにて行う。選択：その他の選択（3 ヶ月）は研修医の希望により、検査手技の習得や他の診療科の研修を目的として、自由に選択できます。（但し、2020 年度の研修プログラム改定が予定されていることから若干の変更があり得ます。）

研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1 年次：40.7 万円 / 月（当直手当含） 賞与 76 万円 / 年（実績）
2 年次：46.3 万円 / 月（当直手当含） 賞与 152 万円 / 年（実績）
- 諸 手 当 ▶ 時間外手当
- 保 険 ▶ 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金、雇用保険
- 勤 務 時 間 ▶ 8 時 30 分～ 17 時 30 分
- 当 直 ▶ あり（4 回 / 月）
- 休 暇 ▶ 日曜・祝日・有給休暇・夏季・年末年始休暇
- 宿 舎 ▶ あり
- そ の 他 ▶ 医師賠償責任保険病院負担 / 健康診断（年 2 回） / 学会参加費用支給（年 2 回）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・自治医科大学さいたま医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・南魚沼市民病院
- ・さいたま北部医療センター

当院の魅力



専門診療と総合診療が融合した指導体制で“軸”になれる医師を育成します



当院は医療需要が増加している「さいたま医療圏」の地域医療支援病院であり、地域医療の司令塔としての役割を担っています。年間 5000 台の救急搬送、かかりつけ医からの紹介、そして大学病院との連携で超急性期から回復期までを担当し、患者さんを住み慣れた自宅や施設などに復帰させています。

それを実現するために、我々は専門診療を縦糸、総合診療を横糸に見たて、縦糸と横糸で織りなす布が患者を包み込むようなイメージを描き診療しています。具体的には内科系診療科を細分化せず、救急総合診療科が内科の主軸となり臓器別専門科がそれをサポートする体制で運営しています。毎朝、全医師が集結し新入院患者の治療方針を議論し各患者に適した主治医団を結成しています。複雑かつ複数の疾患を抱えた高齢者には理想的な臨床決定プロセスであり、毎日欠かさず行っていることが我々の誇りです。

朝カンファレンスでは各臓器別専門医から update された情報を毎日得ることができます。臨床医として地域医療に貢献していきたい医師にとっては理想的な教育環境といえます。

研修責任者から

message

さいたま市民医療センターは地域に密着した医療をモットーに診療を行っている地域支援病院です。今までも自治医科大学附属さいたま医療センターと連携し、ホスピタリスト育成プログラムで研修医の育成を行っていましたが、昨年より独自にジェネラリスト養成を目的とした研修医育成を始めました。「病気」、「子ども」、「けが」に対して、「まず診る」ことができる医師を育てる研修を提供しており、また新専門医制度でどのプログラムに行っても通用する多能性医師を要請できるプログラムを組んでいます。また、豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いとため、病院内のどこでも気軽に相談できる環境となっています。こんな病院で一緒に働いてみませんか？



救急総合診療科科长
坪井 謙

先輩研修医から

message

さいたま市民医療医療センターの研修の特徴は、病棟業務をこなしながら、救急外来の対応を週に 3 回経験出来ること、救急対応した患者さんを入院後も引き続き受けもつことができること、毎朝の内科カンファレンスで、興味深いさまざまな症例に触れることができること、また自身の症例発表に対して、各科の専門医から直接フィードバックをもらえる貴重な勉強の機会があること、300 床の病院で小児救急も含め、年間 5000 台の救急搬送を受け入れていることなどが挙げられます。また、当院の研修プログラムは 0 歳から高齢者まであらゆる疾患に対応できるジェネラリストの育成を目指すものであり、内科、外科、小児科をはじめ幅広い研修をすることができます。4 月から医師としての礎を築くために大切な尊敬すべき先生方に囲まれ、毎日多くのことを学びながら充実した日々を過ごしています。自分の目標を明確に持てば必ず達成できる環境が当院にはあると思います。ぜひ一度見学にいらしてください。一緒に働ける日を楽しみにしています。



研修医 2 年目
大瀧 薫

女性医師支援コーナー

- ・ 短時間勤務制度
- ・ 院内保育の設置
- ・ 当直免除

連絡先

社会医療法人 さいたま市民医療センター

総務課

〒331-0054 さいたま市西区島根 299-1

TEL ▶ 048-626-0011 (代表) FAX ▶ 048-799-5146

E-mail ▶ soumu@scmc.or.jp

URL ▶ <http://www.scmc.or.jp/>

アクセス ▶ JR 大宮駅からバスで 20 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病医院見学随時受付
左記の連絡先へ E メール、TEL にてお問い合わせください。